

【評価実施概要】

事業所番号	170502405		
法人名	有限会社 ケイアンドケイ		
事業所名	グループホームこもれび		
所在地	〒003 - 0029札幌市白石区平和通15丁目北2 - 30 (電 話) 011 - 863 - 8812		
評価機関名	特定非営利活動法人 福祉サービス評価機構Kネット		
所在地	〒060 - 0061札幌市中央区南1条西5丁目7愛生館ビル601B		
訪問調査日	平成20年3月5日	評価確定日	平成20年3月28日

【情報提供票より平成20年2月1日事業所記入】

(1) 組織概要

開設年月日	平成 15年 11月 2日		
ユニット数	2 ユニット	利用定員数計	18 人
職員数	17 人	常勤 12人 非常勤 5人 常勤換算	2.91人

(2) 建物概要

建物構造	木造り		
	2階建ての	1 ~ 2	階部分

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	65,000円	その他の経費(月額)	光熱水費4~10、15千円,11~3、18千円	
敷 金	有 (円)	無		
保証金の有無 (入居一時金含む)	有 (円)	有りの場合 償却の有無	無	
食材料費	朝食	400 円	昼食	400 円
	夕食	500 円	おやつ	100 円
	または1日当たり 円			

(4) 利用者の概要 (2月 1日現在)

利用者人数	18 名	男性	5 名	女性	13 名
要介護 1	4名	要介護 2	4名		
要介護 3	7名	要介護 4	3名		
要介護 5	0名	要支援 2	0名		
年齢	平均 83 歳	最低	69 歳	最高	95 歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	クラーク病院、北榆病院、にひら歯科、紺野整形外科クリニック
---------	-------------------------------

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

住宅街に位置した2階建てのグループホームである。ホームを入ると中庭を中心に吹き抜けの回廊式、ガラス張りの窓、居間や食堂の広さ等余裕のある設計の中にもゆったり感や訪問時も温かみのある日差しの中で利用者がゆったりとくつろげる空間作りに配慮していることが伺える。また。設備面ではトイレ、洗面台、浴室等、身体状況に工夫され、特にトイレは全体で8箇所(1F4・2F4)設置するなど利用者への配慮が伺われる。なお職員の利用者に対する穏やかな接し方や利用者の穏やかな表情から自分のペースで過ごしている様子も伺える。共用空間には、利用者の作品や地域の方から寄贈された絵画など掲示され家庭的で明るい雰囲気が感じられる。またホームとして職員の内外研修等にも積極的に取り組んでいる。今後も地域と共に歩み、地域の中で安心して暮らせるホームとして期待できる事業所である。

重点項目	前回評価での主な改善課題とその後の取組、改善状況(関連項目:外部4)
	<p>前回評価での検討事項(注意の必要な物品等)に対する取組は努力されていることが確認された。</p> <p>今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)</p> <p>今回の自己評価に際し、管理者が職員に意義、目的等説明、指導の下で、自己評価の話し合いがされ、全職員が評価の意義や目的を理解している。この評価を日々の暮らしを振り返る機会としており、このことがサービスの質の向上に繋がるよう取り組んでいる。</p>
重点項目	<p>運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4,5,6)</p> <p>定期的に運営推進会議が開催され、利用者家族、町内会長、民生委員、地域包括支援センター等参加している。ホームから積極的に運営状況や活動内容など特に地域参加について話すなどメンバーから積極的に質問や意見、評価をうけ、サービスの向上に生かしている。会議議事録から熱心な話し合いがされていることが覗える。また運営推進会議を地域との連携強化の場として重要視している。</p>
	<p>家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7,8)</p> <p>家族の苦情受付の窓口として、重要事項説明書により内部、外部の苦情相談窓口を明示している。玄関から上がったところに苦情箱を設置するなど日頃から折に触れて家族が気軽に意見や要望を伝えられるように努めている。利用者の暮らしを家族の訪問時や体調変化時は随時電話連絡しており、また個々に宛てた手紙や写真を同封している。</p>
重点項目	<p>日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)</p> <p>利用者は地域の祭りや盆踊りなどの行事に職員と共に積極的に参加しており、またホームに地域の方を招くなど地域の方との交流にも力を入れており良好な関係が出来ている。地域にホームの存在や役割が理解され、ホーム全体が地域に溶け込むような努力がなされており、一層の充実が期待される。</p>

評価結果 (詳細)

NPO法人 福祉サービス評価機構 Kネット

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	ホームの運営理念を見やすいところに明示しており、地域の中での生活の支援として、日常の関わりなどを通じ、地域とホームの関係性を深めるよう常に心がけるなどグループホームとしての本質を理解している。		
2	2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	管理者の日常的な指導の下で、職員の申し送りやミーティング、カンファレンス等を通して、介護に対しての考えなど理念の本質を理解・共有が図られ、ケアサービスの提供に取り組んでいる。		
2. 地域との支えあい					
3	5	地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	町内会に加入しているが、お祭りや盆踊り、老人クラブ活動などの諸行事に参加し、地域の方との円滑な交流が行われている。近所の小学校と連携を図りながら子供110番に加盟するなど積極的に地域活動を行っている。また地域の方をホームの勉強会などに案内を出すなど共に学びを通しての交流や町内の方から雛人形をプレゼントされるなど地域の方との交流の輪が広がっている。		
4	7	評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	管理者会議、カンファレンス、ミーティング等で話し合い、評価の意義や活用方法を理解・共有を基に全職員が主体的に取り組んでいる。また評価結果を改善に活かすことを通して、サービスの質の向上に役立てることの大切さを職員が理解し取り組んでいる。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
5	8	<p>運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>評価への取組みの状況やホームの現状を運営推進会議で率直に伝え、話し合いが行われ、評価、要望、助言などを得て、サービスの質の向上に努めている。</p>		
6	9	<p>市町村との連携</p> <p>事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる</p>	<p>管理者は 区の会議や勉強会に積極的に参加し、ホームの現状を伝えたり、市町村担当者と行き来する機会を作るなどサービスの向上に取り組んでいる。</p>		
4. 理念を実践するための体制					
7	14	<p>家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている</p>	<p>利用者の体調不良や突発的な受診時には、その都度電話にて報告を行っている。面会時にケアプランを基に利用者の生活様子、介護・医療の状況や預かり金の使用状況などを伝えている。毎月手紙や写真にて近況を添え書きした便りの発行、行事への家族参加の呼びかけなども行っている。</p>		
8	15	<p>運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>重要事項説明書には、苦情申立て機関や処理体制を掲げている。また日頃から家族が気軽に意見や要望を話し合える雰囲気作りに努めており、玄関から上がったところに意見箱を設置している。意見等が出た場合は、即対応しケアに反映させる体制が出来ている。</p>		
9	18	<p>職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>	<p>利用者の状態や職員の人数などに応じてローテーションを組む場合は必要最小限に抑えられるよう考え、また管理者を始め職員全員が利用者に影響が少ないようにコミュニケーション作り等配慮している。新任職員は家族来訪時に紹介している。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援					
10	19	<p>職員を育てる取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>外部の研修会に勤務の一環として管理者が積極的に研修を受講するよう勧めている。受講後は勉強会にて研修内容を報告書にまとめ報告し、職員間の共有を図っている。またホーム内の勉強会で今日的課題について勉強するなど内部研修にも力を入れている。</p>		
11	20	<p>同業者との交流を通じた向上</p> <p>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>定期的に管理者連絡会議に出席をし、地域の同業者との情報交換や交流を図っている。また他のグループホームとの勉強会や研修をするなどしてサービスの質の向上やネットワークづくりなど活発な取組が行われている。</p>		
・安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	<p>馴染みながらのサービス利用</p> <p>本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐徐に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している</p>	<p>入居前に職員や利用者の姿やサービス内容などホームでの生活の様子等確かめてもらうためグループホームの見学や体験入居を行ったりしている。自宅訪問する場合は事前に何度も訪問を重ね、少しでも顔馴染みの関係が築けるよう努力をしている。</p>		
13	27	<p>本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながらか喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている</p>	<p>一方的な関わりとならないよう、利用者の言葉や表情・表現、行動などにも目を配り、ともに共感している。利用者から戦時中の体験や苦労話、料理、昔の唄などの経験や体験などについて教わる関係が出来ている。ともに学ぶ機会や活躍できる場面などの関係づくりを実践している。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	<p>思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	<p>入居時に利用者や家族から要望を伺うが、入居後にもケアプランの説明時にその都度、希望や要望・気になることなどを伺うようにしている。また日常の会話、仕草、行動などを基にニーズに繋ぎ、カンファレンスで共有している。</p>		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	<p>チームでつくる利用者本位の介護計画</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p>	<p>アセスメントを基に職員間の話し合いと同時に、家族や利用者の気付きや思い、意向や意見を反映したケアプランが作成されている。また家族には内容の説明をし承諾を得てから署名をもらっている。</p>		
16	37	<p>現状に即した介護計画の見直し</p> <p>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p>	<p>利用者の日々の様子や身体・精神面、予防的観点などの変化など状況に合わせて、その都度話し合う場面を作り、家族、利用者の要望に応じてカンファレンスを行い、随時見直しケアプランの立案に活かすなど柔軟に対応している。</p>		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
17	39	<p>事業所の多機能性を活かした支援</p> <p>本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている</p>	<p>医療機関への送迎、外泊・外出支援、遠方からの家族の訪問時には、希望に応じて宿泊できる部屋の提供を行う等家族や利用者の要望や状況に応じて柔軟な支援を行っている。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
18	43	かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	入居以前から通院している病院に継続して定期的受診が出来るように支援している。受診の際はグループホームでの状況を詳細に報告、相談を行っており、適切な医療を受けられるよう連携を図っている。また緊急時での受け入れ体制も整っている。		
19	47	重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	利用者の重度化や終末期に向けて、かかりつけ医からの状態の説明を家族、利用者と共に共有し、利用者にとっての過ごし方の話し合いを繰り返し行い、その結果を往診の医師・看護師の報告・相談をして緊急時の対応について慎重に検討し取組んでいる。また職員間においても考え方を周知・共有している。		
. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1) 一人ひとりの尊重					
20	50	プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	職員は利用者一人ひとりの性格を把握し、トイレの誘導時の言葉かけや対応など配慮しながらを行っている。個人情報に関する書類等の管理も適切に行われている。また記載物破棄の際はシュレッターを使用している。		
21	52	日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	ホームとしての基本的な一日の流れはあるが、業務中心のケアではなく、利用者が望む過ごし方を職員が把握し、一人ひとりのペース、気持ちを大切にして、自由にゆったりとした自分本位の時間を過ごせるよう柔軟に対応している。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	利用者の食べたいものを献立に取り入れたり季節に応じた食事を提供できるように心がけている。また職員と一緒に食材の買出しに出かけたり食事の支度・後片付けを行っている。季節の食べ物等利用者に教えてもらいながら取り入れている。利用者によっては盛り付け量を変えたり、他のものをつけたり、一人ひとりの好みに配慮している。また湯のみ、茶碗、箸、カップなど自前のお気に入りを使用している。		
23	57	入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	入浴の日や時間は決めておらず、利用者の希望に応じる個別性を大切にした支援を行っている。毎日風呂を沸かしており、いつでも入浴が出来る体制を作っている。また入浴剤を使用し楽しみを持てるよう工夫をしている。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	ホームでは新聞取り、花壇管理、野菜収穫、掃除、洗濯物たたみ、茶碗拭きなど一人ひとりの出来ることや、したいことなどを把握しながら、意欲を發揮できるよう支援しており、その尊厳の念や感謝の言葉を忘れずに対応を行っている。		
25	61	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	普段から外気や季節感に触れる機会を大切にしており、天候や体調に配慮しながら希望に出来るだけ沿えるよう散歩、公園や食事、デパートでの買い物等外出を楽しむ機会を作っている。		
(4) 安心と安全を支える支援					
26	66	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	日中は鍵をかけておらず、利用者が自由に外との行き来が出来る関わりに努めている。鍵をかけることが利用者に対して与える影響を理解し、常に見守りをし鍵をかけなくてもすむケアの取組を行っている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
27	71	<p>災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている</p>	<p>消防署と連携を取り、消火器による初期消火等避難訓練を実施しており、消火器や避難路の確保などの点検も定期的の実施している。講習時には町内の方にも呼びかけ協力を得ている。</p>		
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	<p>栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている</p>	<p>献立を作る際、食べる量、栄養バランスや利用者の好みも取り入れながら立てている。水分も利用者の希望を聞きながら色々な飲み物を用意しこまめに勤めるようにしている。また日常の食べ物、飲み物、好みなどの摂取状況を見ながら捕食や栄養補助飲料も活用している。</p>		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1) 居心地のよい環境づくり					
29	81	<p>居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>ホーム内は全体的にゆったり感、清潔感があり、日差しが強いときにはカーテンやすだれを使ったりの配慮がされている。居間では利用者が思い思いにくつろいでいる。テレビは誰も観ていなければスイッチを消している。季節感や生活感に応じた装飾品や写真・利用者の作品などを飾り、居心地よく暮らせる空間作りや住まいの意識を高める工夫が見られる。</p>		
30	83	<p>居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>入居時に利用者の使い慣れたベット、整理ダンスの家具や寝具、カーテン、身の回り品、手作りの品等馴染みのものが持ち込まれ、本人が使い勝手の良いように配置している。今までの生活習慣も大切にしながら居心地よく過ごせる工夫がされている。</p>		

 は、重点項目。